

京都府立大学文化遺産叢書 第21集

京都山伏山町文書調査報告

刊行にあたって

京都府立大学文学部歴史学科では、京都府下を中心に、地域の歴史や文化遺産に対する研究をおこない、その成果を文化遺産叢書として2008年度以来公刊してきた。その第21集となる本書は、京都市中京区山伏山町に関する科学研究費補助金「聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究」の成果をまとめたものである。京都市では、本叢書同第18集『京都東山・三嶋神社文書調査報告』（2019）、第19集『京都雲ヶ畑・波多野六之丞家文書調査報告』（2020）の他、『京都地域情報・文化遺産データベースの展開・活用―「郡村誌」の地図化と二ノ瀬・岡崎を事例に―』（2014）、『上賀茂神社・上賀茂地区の地域史研究』（2015）につづく5冊目の調査研究の成果となる。

本書は、数年間にわたる共同研究のなかで実施した、山伏山町文書調査の成果、研究をまとめている。この調査では、所蔵者である公益財団法人山伏山保存会の方々のご協力をいただいた。大学のみでは調査範囲・方法が限られることも多く、このような地域との連携・協働がこれからの文化遺産の調査・活用では重要となる。調査の成果報告を山伏山町で実施し、大学での実習や研究の様子を地域に直接伝えられたことは、地域との円滑で良好な関係に繋がり、学生にとっても貴重な経験となった。また、本書内では、調査の参加者による山伏山町文書に関するコラムを6本掲載している。山伏山町の歴史の一面がうかがうことができる一冊となった。

最後となるが、この調査の最中に、山伏山保存会・理事であった藤本佳裕氏が逝去された。調査にあたり多大なご協力をいただいた藤本氏に衷心より感謝の意を表すとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げたい。

京都府立大学文学部歴史学科

例 言

一、本書は、2020年度に実施された、以下の研究成果の一部である。

「聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究」(基盤研究B JSPS KAKENHI 18H00741)

(研究代表者)	菱田 哲郎	文学部教授
(研究分担者)	東 昇	文学部准教授
	上杉 和央	文学部准教授
	岸 泰子	文学部准教授
	井上 直樹	文学部准教授
	諫早 直人	文学部准教授
	山岸 常人	特任教授
	吉川 真司	京都大学文学研究科教授
	向井 佑介	京都大学人文科学研究所准教授
(研究協力者)	竹中 友里代	特任講師

一、本書の執筆には、上記の者のほかに、齊藤久子、豊田祥子(京都府立大学文学部卒業生)、安江範泰(京都府立大学文学研究科史学専攻博士前期課程1回生)があたった。

一、本書の編集は、東昇、竹中友里代がおこなった。

一、本書の組版、デザインは長谷川巴南(京都府立大学文学部歴史学科3回生)がおこなった。

一、表紙・口絵に利用した写真掲載にあたり、公益財団法人祇園祭山鉾連合会・公益財団法人山伏山保存会より提供・許可を受けた。

○調査協力者・機関(敬称略、五十音順)

京都国立博物館名誉館員久保智康・京都市文化市民局 文化芸術都市推進室文化財保護課・公益財団法人祇園祭山鉾連合会・公益財団法人鯉山保存会・公益財団法人山伏山保存会・滋賀大学名誉教授宇佐美英機・同志社大学教授小林丈広・長浜市長浜城歴史博物館坂口泰章・八木真由美

○調査参加者(五十音順)

京都府立大学歴史学科文化情報学研究室、文化情報学実習・文化遺産学講義・歴史情報学演習の受講生

有賀陽平・安部萌花・稲穂将士・井上真美・内村彩伽・大関美沙・岡本優美・尾松美早都・加藤叡・木下梨紗子・楠山花・窪田竜也・小林楓・小山泰輝・齊藤久子・酒向あやか・鈴木更紗・重富裕昭・竹内祥一朗・竹河果穂・徳丸貴尋・豊田祥子・寺嶋一根・中村美琴・西村純樹・橋本空・濱本めぐみ・原田宗周・疋田彩花・廣瀬友佳・福岡優華・藤岡春那・松浦智博・水野拓也・三角明日香・宮田匡・棟田成紹・本松陽向子・守田悠・安江範泰・藪内衿子・山田優吾・山本結美子・善積沙耶子・米澤千春